

地域間交流・国際交流の推進（3月16日審議）

1 施策の基本方針

交通アクセスに恵まれた地域特性を生かし、近隣地域との連携や交流人口の増大を図るとともに、友好都市との交流を始め、農家民泊による修学旅行生の受入れなどのグリーン・ツーリズムやスポーツを通じた地域間交流を推進します。

また、姉妹都市との交流事業を始めとしてアジア諸国等との交流を進めるとともに、諸外国とツルに関する情報交換などを行い、国際交流を推進します。

2 指標の評価点

2020	2021	増減
△1.5	△1.5	±0

3 現状分析（課題認識）

- ・人の交流の増加が地域の発展・活性化を促進させるという仮定に基づく施策である。
- ・また観光以外の市外客を呼び込むことによる経済活性化も含む。
- ・したがって、本施策では、より多くの市外客を呼び込める事業、より多くの経済効果のある事業が求められる。市外客数を試算できない事業は実施しない。
- ・費用対効果があがらない、不明確な事業を廃止し、成果を意識した事務事業見直しを行う。各事業やイベントの費用対効果を評価するKPIを設定し、効果的な見直しにつなげる。
- ・指標の結果が、新型コロナウイルス感染症の影響の大きさを表している。アフターコロナを見据えた取組が必要である。

4 施策の方向性

(1) 成果の方向性

来年度（2023）	再来年度以降（2024～）
<ul style="list-style-type: none">・大産業祭等による物販、人的交流を深め、交流人口の増加を図りつつ、民間交流の後押しする。・ラムサール条約登録、出水麓地域活性化施設を生かした、新たな関係人口との交流を図る。	<ul style="list-style-type: none">・大産業祭等による物販、人的交流を深め、交流人口の増加を図りつつ、民間交流の後押しする。・ラムサール条約登録、出水麓地域活性化施設を生かした、新たな関係人口との交流を図る。

(2) コストの方向性

来年度（2023）	再来年度以降（2024～）
<ul style="list-style-type: none">・民間レベルの交流にシフトを図る。・事業の見直しを検討する。	<ul style="list-style-type: none">・民間レベルの交流にシフトを図る。・交流人口の拡大につながらない事業や地域活性化の効果が乏しい事業は廃止する。

5 外部評価（行革推進委員会）

（2020年度）新型コロナウイルス感染症対策に係る新規事業が事業一覧に含まれていない。未来の方向性を見ていく意識づけのためにも事業として含める必要がある。

（2021年度）夏祭りを、観光目的とコミュニティ活性化の視点で分けて考えることは必要である。農家民泊は、留学生を対象とした海外向けPR事業と、修学旅行生を対象とした国内向けと観光事業としては、分けて考えても良いのではないか。

6 評価指標

目指す姿	指標名	根拠・算出方法等	評価点	単位		2019	2020	2021	2022	2023	最終	
1 海外の文化や情報と触れ合い、相互理解を深め、経済や観光などの交流を広げる	観光等で本市を訪れる外国人観光客数	ツル観・公開武家屋敷の来訪者調査	-1	人	計画			1,000	2,000		目標	2,000
					実績	3,315	66	307		年度	2022	
2 地域間交流を通じて、交流人口を増加させる	市外者向けイベントの市外者参加者数		-2	人	計画			34,000	35,000		目標	36,000
					実績	33,383	12,401	21,733		年度	2023	

7 事務事業一覧

No.	事業名	担当課
1	各種交流事業	商工観光課
2	友好都市交流事業	商工観光課
3	ふるさと会	商工観光課
4	花柳社中からいも交流	商工観光課
5	国際交流、国際協力及び国際化推進	商工観光課
6	姉妹都市全般の総括	商工観光課
7	青少年交流事業	生涯学習課
8	来て観て体農自味交流事業	商工観光課
9	観光と連携したポストコロナ農泊事業	商工観光課
10	スポーツ交流促進事業補助金	商工観光課
11	ツルマラソン	商工観光課
12	たかおの鶴駅伝大会	商工観光課
13	出水地域開発促進協議会事業	企画政策課
14	サイクルツーリズム	商工観光課